

令和3年12月17日(金)第4回道小理事研修会 旭川大会について「読み原稿」

みなさん、こんにちは。「旭川大会」の事務局を担当させていただいています旭川市小学校長会 旭川市立高台小学校の玉井です。よろしくお願い致します。

旭川市小学校長会では「旭川大会」の開催に向け、令和3年度4月準備委員会立ち上げ、9月からは旭川大会実行委員会として準備を進めているところです。

まずは、この実行委員会で検討・提案させていただいた2点について説明させていただきます。ご協議よろしく願います。研修部資料24ページをご覧ください。

1点目は、キャッチフレーズについてです。

このキャッチフレーズ作成にあたっては、キーワードを学習指導要領改訂や新しい生活様式、令和の日本型学校教育などを踏まえ、「学びをつなぐ」、「未来を創る」、「つないでいく」などとして検討してまいりました。

開催地となる、旭川市は、アイヌの人々の営みと 開拓の歴史によって、今日の旭川の基礎が築かれました。交通の要衝(ようしょう)・物流の集積地として発展し、現在は、北北海道の拠点都市として、豊かな自然と 都市機能が充実しています。

川のまちと呼ばれる旭川市は、橋のまちでもあります。旭川大会では、道小一丸となって取り組む貴重な研究の成果が、「人と人をつなぐ架け橋、次代を担う子供たちの笑顔と希望の架け橋」となり、そして、子供たちが、力強く「未来をつくり出す」その担い手となってほしいという願いを込めた大会にしたいと考えています。

このような理由からキャッチフレーズを

「川のまち旭川から 子どもたちの笑顔と希望の架け橋となって

未来をともに創り出そう！」

と提案させていただきます。

2点目は、シンボルマークについてです。

大会開催要項に記載の通り、川のまちと呼ばれる旭川市は、橋のまちでもあります。橋が架かることによって地域と地域がつながり、社会・経済・教育・産業など人との絆が深まります。そして、新しい文化・未来が創造されます。旭川市の橋のシンボルである旭橋を中心にして、輝く希望の未来へとつながっていく光を表現しました。本大会の研究成果が「人と人をつなぐ架け橋、次代を担う子供たちの笑顔と希望への架け橋」となり、これからの未来を拓く子どもたちが、力強く「未来を創り出す」その担い手となってほしいという願いが込められています。このような趣旨で提案させていただきますので、キャッチフレーズ同様、ご協議の程よろしく願います。

引き続き、大会運営の進捗状況について説明させていただきます。

まず記念講演についてです。

講師は、宝塚ボーイズ監督、NPO法人ベースボールスピリッツ理事である奥村 幸治(おくむら こうじ)氏をお招きします。

演題は未定ですが、人材育成、コーチングにかかわる話題を検討しています。奥村氏は、“イチローの恋人”としてマスコミに紹介され、それ以来コメントを依頼されてのTV出演多数。1999年に中学硬式野球チーム（宝塚ボーイズ）を結成し、監督を務める一方、講師として各地方で講演活動をされています。宝塚ボーイズの教え子には楽天の「田中将大投手」や元阪神タイガースの「歳内宏明（さいうちひろあき）投手」がいます。我々にとって人材育成にかかわる示唆に富む話になることを期待しているところであります。

次に、会場についてです。25ページをご覧ください。

全体会場は旭川駅から徒歩15分程度の「旭川市民文化会館大ホール」です。

分科会会場は、1500人収容の旭川市民文化会館大ホールを含め旭川トーヨーホテル、上川教育研修センター、ときわ市民ホール、旭川北洋ビルの合計5施設11会場を確保しました。どの施設も全体会場の「旭川市民文化会館」から徒歩15分圏内です。どの会場も定員の30%から70%位で利用できるよう、感染症対策として「広さ」を優先させて選定いたしました。

また、駐車場については、旭川市民文化会館駐車場に来賓、旭川市6条通り5丁目の旭川市立日章小学校グラウンドに役員のみ駐車することになります。それ以外の参加者については、徒歩または公共交通機関を利用するか、駐車については宿泊ホテルの駐車場、民間駐車場をご利用いただきたいと思いますと考えております。ご不便をおかけしますが、ご協力をよろしくお願い致します。

旭川大会でも感染症への対応が必要になると考えて準備を進めています。受付時には検温・消毒を行い、全体会・分科会では一定の距離をとることと換気を徹底させたいと考えております。

来年9月、皆様にお会いできるのを楽しみにしております。以上で開催地からの提案と説明を終わります。よろしくお願い致します。